

研修会 = 体験を通して学ぶ =

## 共に生きる ～悲嘆に寄り添う・自らの枠を知ることから始まる共感～

〈全 8 回〉ご案内

大阪市仏教会 社会福祉委員会

「共感とは？」 「私」が「あなた」の感じていることを理解する。世間では共感をそのように受けとめられているかもしれませんが。しかし、もしかすると共感とは、「私」と「あなた」の枠を超え、それぞれが大いなるものに開かれた時にもたらされるものではないでしょうか。共感とは、あたかも感動がそうであるように、自らの意識的な行為ではなく、大いなるものから与えられるものなのかもしれません。

瀬良信勝

\* \* \*

〈ご案内〉 グリーフケア連続講座も今回で 3 回目のシリーズとなります。壇信徒の方々とお寺とのかかわりが強い大阪ならではの研修会であると思っております。宗教とは「本質にかかわるもの」との見地から、私どももあまりにも「形式合理主義」に流されてきたのでは？との問題意識が当初からありました。真に宗教的なものとは、体よくパッケージして教義と儀式を大量に流布させることでもなく、また、まったく閉ざされた個の思念の内にあるものでもないでしょう。それは人と人の間の深いところにあり、私たちに「大切なこと」を確認させてくれるものなのだと思います。ですから、私どもの法務にとってこの部分は決して単なるオプションではないはずで。今回は、この「共感」ということ・・・「あなたの悲しみがわかる、わからない」ではなくとも言葉ではいいあらわせないところ、をめぐり一緒に学び深めていきましょう。大阪市仏教会 社会福祉委員会 委員長 松原俊幸

\* \* \*

〈概要〉 ご遺族の悲嘆に寄り添うことを中心に添え、仏教者として「共に生きる」ことを見つめていくことを主眼とした講座です。その際に「自らの枠」、「共感」ということを意識していただきます。

具体的には、これまで意識せずに慣れ親しんできた人と関わり方、つまり自らの枠を見直すとともに、より幅広く、より深く関わるための態度や姿勢を、体験を通して学びます。その上で、宗教者としてそれらの体験を深めていきたいと考えています。

\* \* \*

〈講師プロフィール〉 瀬良信勝 真宗大谷派僧侶。社会医療法人生長会府中病院・臨床スピリチュアルケアカウンセラー。日本グリーフケア研究所非常勤講師。堺看護専門学校心理学講師。日本スピリチュアルケア学会評議員。臨床スピリチュアルケア協会所属。兵庫・生と死を考える会理事。ゆりの会・わすれな草の会（死別体験の分かち合いの会）スタッフ。神戸ひまわりの会（死別体験の分かち合いの会）運営委員。グリーフケア研究会運営委員。

\* \* \*

実施日時	各回 18:30 より	第 3 回	平成 22 年 4 月 20 日(火)	第 6 回	平成 22 年 9 月 14 日(火)
第 1 回	平成 22 年 2 月 16 日(火)	第 4 回	平成 22 年 6 月 15 日(火)	第 7 回	平成 22 年 10 月 19 日(火)
第 2 回	平成 22 年 3 月 16 日(火)	第 5 回	平成 22 年 7 月 20 日(火)	第 8 回	平成 22 年 11 月 16 日(火)

実施場所 真宗大谷派 難波別院 (南御堂) 地下第一会議室 (本堂右手奥より地下へ降りる)  
 大阪市中央区久太郎町 4-1-11 TEL 06-6251-5820

対象者 僧侶・寺族

登録料 ￥10,000円 (全 8 回分初回にお願い申し上げます)

申込受付 必要事項ご記入の上、本紙を切り取らずに FAX 06-6761-8926 まで

申込締切 平成 22 年 2 月 12 日まで

問合せ先 社会福祉委員会事務局(報恩院内) TEL 06-6761-0543 houonin@osk3.3web.ne.jp

申込記入欄

研修会連続講座 受講いたします		返信先 FAX 06-6761-8926
ご氏名	寺号	TEL
ご住所 〒		(FAX)